

気象など、  
情報に注意  
しよう！



# 避難の考え方

- ① 事前に避難所(マイ避難所)を確認しよう。  
避難先は、避難所(学校、公民館等)だけではありません。「避難」とは「難」を「避」けること。安全な親戚・知人宅への避難も考えて、普段から相談しておこう。
- ② 避難する際、周囲の状況を確認しよう。  
大雨の中の移動は大変危険です。周囲の状況に十分注意しよう。
- ③ 避難する際、周囲に声かけをしよう。  
高齢者等が早めに避難できるよう、できる限り周囲に声をかけてから避難しよう。
- ④ 屋外への避難が危険な場合は垂直避難で安全確保しよう。  
水平避難が困難な場合は、頑丈な建物の2階以上など想定される浸水深さより高い場所に垂直避難しよう。

日頃から  
備えておこう！



## 「水平避難」と「垂直避難」

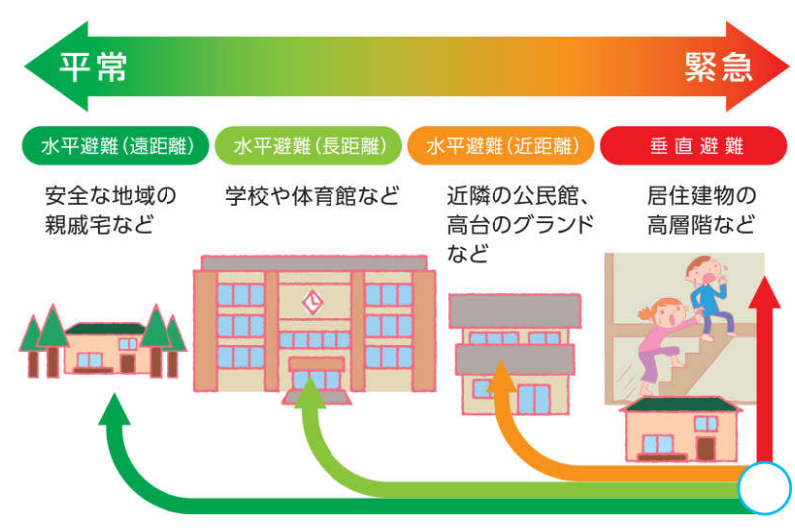
避難の方法には、「水平避難」と「垂直避難」があります。水平避難(立退き避難)が原則ですが、緊急時は垂直避難で安全を確保しよう。

### 水平避難(立退き避難)

その場を立退き、近隣の少しでも安全な場所に一時的に避難すること。  
→警戒レベル4までに避難

### 垂直避難(屋内安全確保)

外出が危険な状況で、屋内の2階以上に緊急避難すること。  
→警戒レベル5で屋内安全確保



# 情報をもとに避難しよう

警戒レベル 気象庁が発表

## 1・2 避難に備える

ハザードマップなどで自分がとるべき避難行動やタイミングを確認しよう。地域の防災訓練などに参加しよう。

地下や土地が低い場所は危険！



警戒レベル 長崎市が発令

## 3 高齢者等避難

高齢者等\*避難に時間がかかる方は危険な場所から早めに避難しよう。

\*在宅又は施設利用の高齢者及び障害のある方、妊婦、乳幼児がいるご家族など及びその人の避難を支援する方



河川情報 氾濫注意情報

氾濫注意水位  
川の増水により、氾濫への注意を始める必要を示す水位。  
**3.30m** 大橋観測所

河川情報 氾濫警戒情報

避難判断水位  
川の増水により、今後氾濫するおそれがあることを示す水位。  
**3.80m** 大橋観測所

警戒レベル 長崎市が発令

## 4 避難指示

危険な場所にいる人は速やかに安全な場所に避難する。避難先までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所、自宅内の安全な場所に移動。



警戒レベル 長崎市が発令

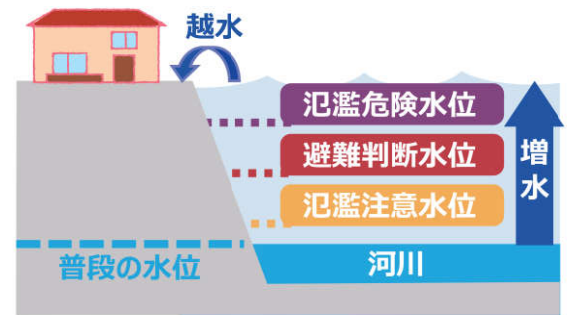
## 5 緊急安全確保\*

\*災害状況は確実に把握できるものではないことから、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。災害発生又は切迫している状況。命の危機、直ちに安全確保！

警戒レベル4までに必ず避難！

河川情報 氾濫危険情報

氾濫危険水位  
川からいつ水があふれ出してもおかしくない危険な状況を示す水位。  
**4.60m** 大橋観測所



河川情報 氾濫発生情報

川の氾濫が生じ、災害がすでに発生している状況。



### 避難情報の伝達

様々な手段で住民のみなさんに避難情報をお伝えします

長崎市

防災行政無線

市防災メール

SNS

緊急速報メール

テレビ・ラジオ

住民のみなさん

(裏表紙の防災情報入手先もご確認ください)